

2023年度 第3四半期 決算説明会

2024年2月6日

ブラザー工業株式会社

常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2023年度 第3四半期（10月-12月）実績

売上収益は、為替のプラス影響があったものの減収。
事業セグメント利益は、物流コストの減少などにより大幅に増益

◆ 売上収益 2,131億円/▲1.7%（前年同期比）

- ✓ 為替のプラス影響があったものの、マシナリー事業の中国・アジアにおける市況低迷の影響や、P&S事業の製品本体の販売減などにより減収となる

◆ 事業セグメント利益 209億円/ +30.3%（前年同期比）

- ✓ 販促費・販管費の増加や、マシナリー事業の減収影響があったものの、P&S事業における物流コストの減少や消耗品の売上増に、為替のプラス影響も加わり、大幅な増益となる

2023年度 通期業績予想

売上収益・各段階利益ともに、前回予想から変更なし

2023年度 第3四半期決算

売上収益は、為替のプラス影響があったものの、減収となりました。
事業セグメント利益は、物流コストの減少などにより、大幅な増益となりました。

売上収益

前年同期比 1.7%減の **2,131億円**となりました。

為替のプラス影響があったものの、マシナリー事業の中国・アジアにおける市況低迷の影響や、P&S事業の製品本体の販売減などにより、減収となりました。

事業セグメント利益

前年同期比 30.3%増の **209億円**となりました。

販促費・販管費の増加や、マシナリー事業の減収影響があったものの、P&S事業における物流コストの減少や消耗品の売上増に加え、為替のプラス影響もあり、大幅な増益となりました。

2023年度 通期業績予想

事業ごとには若干変動の可能性のあるものの、
事業ごとの内訳を含め、前回予想（2023年11月7日公表）から変更ありません。

2023年度 第3四半期（10月-12月）業績

売上収益は為替のプラス影響があったものの減収、
事業セグメント利益は大幅な増益となる

単位：億円

	22Q3	23Q3	増減 ()は為替影響 除く増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	2,168	2,131	▲37 (▲123)	▲1.7% (▲5.7%)
事業セグメント利益	160	209	49 (28)	30.3% (17.5%)
事業セグメント利益率	7.4%	9.8%		
その他の収益・費用	55	4	▲51	
営業利益	215	214	▲2	▲0.9%
営業利益率	9.9%	10.0%		
税引前利益	219	223	4	1.8%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	127	177	50	39.3%
USD	141.16	147.00	5.84	
EUR	143.74	158.82	15.08	

© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4

2023年度 第3四半期の売上収益は、
前年同期比 37億円減の **2,131** 億円 となりました。

事業セグメント利益は、49 億円増の **209** 億円、
営業利益は、2 億円減の **214** 億円、
親会社当期利益は、会計上の税負担率の差により、50 億円増の **177** 億円 となりました。

なお、前年同期はその他の収益・費用として、固定資産の売却益がありました。

2023年度第3四半期 事業セグメント別実績

単位：億円

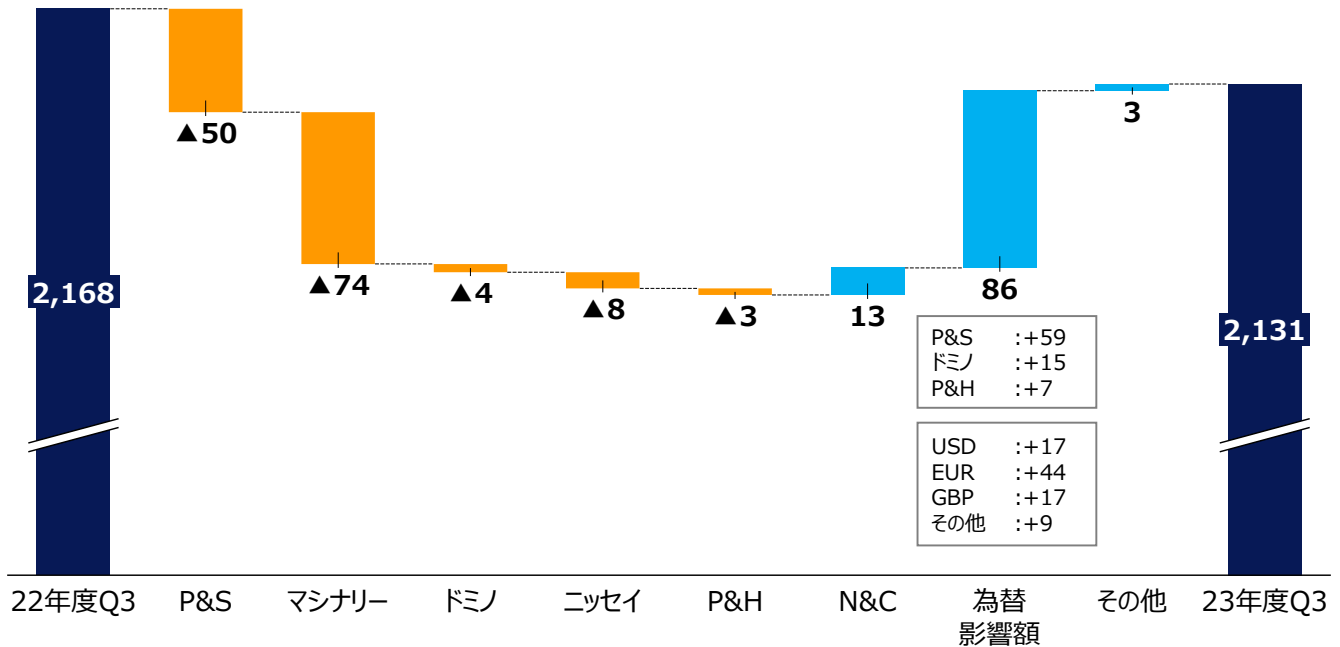
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	22Q3	23Q3	増減	22Q3	23Q3	増減	22Q3	23Q3	増減
P&S	1,337	1,346	9	91	164	73	102	170	67
マシナリー	257	187	▲70	28	7	▲21	26	6	▲20
ドミノ	255	266	11	11	7	▲4	3	2	▲1
ニッセイ	61	53	▲7	7	4	▲3	7	4	▲3
P&H	137	141	4	21	18	▲3	21	17	▲4
N&C	91	104	13	2	6	5	1	6	5
その他	31	34	3	2	4	2	55	9	▲47
合計	2,168	2,131	▲37	160	209	49	215	214	▲2

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績一覧です。

為替のプラス影響があったものの、マシナリー事業の中国・アジアにおける市況低迷の影響や、P&S事業の製品本体の販売減などにより減収となる

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2023年度 第3四半期の売上収益の増減要因です。

・P&S

通信・プリンティング機器は、消耗品の販売が堅調に推移したものの、市況低迷の影響を受け、製品本体の販売が減少しました。ラベリングは、供給制約があった前年と比較して製品本体が堅調に推移しました。P&S事業全体では、通信・プリンティング機器における製品本体の販売減の影響が大きく、減収となりました。

・マシナリー

主に、産業機器において中国・アジアの市況低迷の影響を受け、大幅な減収となりました。

・ドミノ

消耗品全般は堅調に推移したものの、設備投資需要が軟調に推移し、C&M・DPともに製品本体の販売が減少したことにより、減収となりました。

・ニッセイ

主に中国の市況悪化を受けた設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに減収となりました。

・P&H

米国における市況の低迷により、減収となりました。

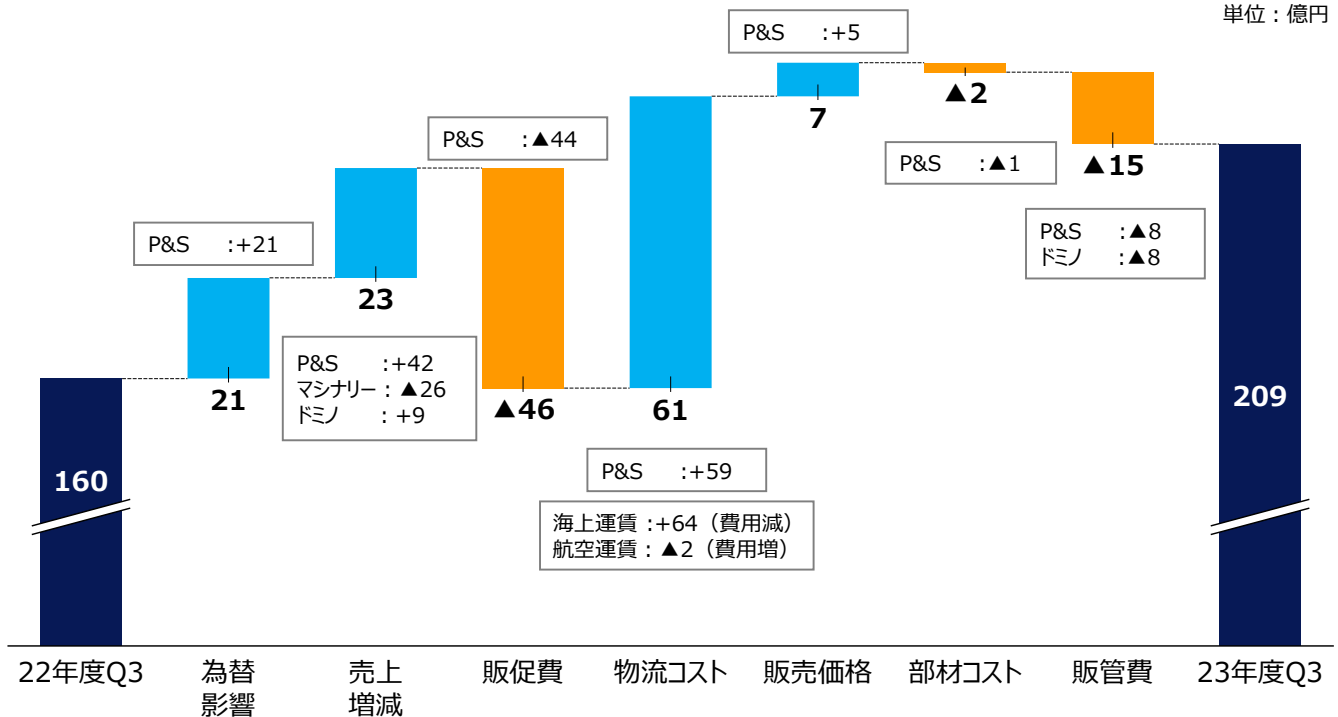
・N&C

新製品投入にともなうカラオケ機器の販売増と、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなうカラオケ店舗への客足の回復により、増収となりました。

これらに、為替が円安に推移したことによるプラス影響 86 億円が加わったものの、全社では 37 億円減となる 2,131 億円 となりました。

販促費・販管費の増加や、マシナリー事業の減収影響があったものの、P&S事業における物流コストの減少や消耗品の売上増に、為替のプラス影響も加わり、大幅な増益となる

単位：億円



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

事業セグメント利益の増減要因です。

・為替影響

主にP&S事業で為替のプラス影響がありました。

・売上増減

マシナリー事業における産業機器の販売減少の影響を受けたものの、P&S事業における消耗品の売上増などが寄与しました。

・販促費

主にP&S事業において、各社の供給制約の解消にともない競争環境が戻ったことから、増加しました。

・物流コスト

主にP&S事業において、海上運賃の高騰が落ち着いたことにより、減少しました。

・販売価格

主にP&S事業において、価格対応の効果がありました。

・販管費

主にP&S・ドミノ事業において、営業活動の強化などにより、増加しました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 49 億円増の **209 億円**となりました。

2023年度 第3四半期累計（4-12月）業績

為替のプラス影響により、売上収益は前年同期並み、
事業セグメント利益以下の各段階利益は増益となる

単位：億円

	22年度 Q3累計	23年度 Q3累計	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	6,135	6,128	▲7 (▲278)	▲0.1% (▲4.5%)
事業セグメント利益	520	616	96 (33)	18.6% (6.4%)
事業セグメント利益率	8.5%	10.1%		
その他の収益・費用	70	▲5	▲76	
営業利益	590	611	21	3.5%
営業利益率	9.6%	10.0%		
税引前利益	601	633	32	5.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	430	466	36	8.5%
USD	135.40	142.76	7.36	
EUR	140.42	155.19	14.77	

© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

9

2023年度の第3四半期累計期間の売上収益は、
為替のプラス影響があったものの、前年同期比 7 億円減となる **6,128** 億円となりました。

事業セグメント利益は、 96 億円増の **616** 億円
営業利益は、 21 億円増の **611** 億円
親会社当期利益は、 36 億円増の **466** 億円 となりました。

なお、前年同期は、その他の収益・費用として、固定資産の売却益がありました。

2023年度Q3累計 事業セグメント別実績

単位：億円

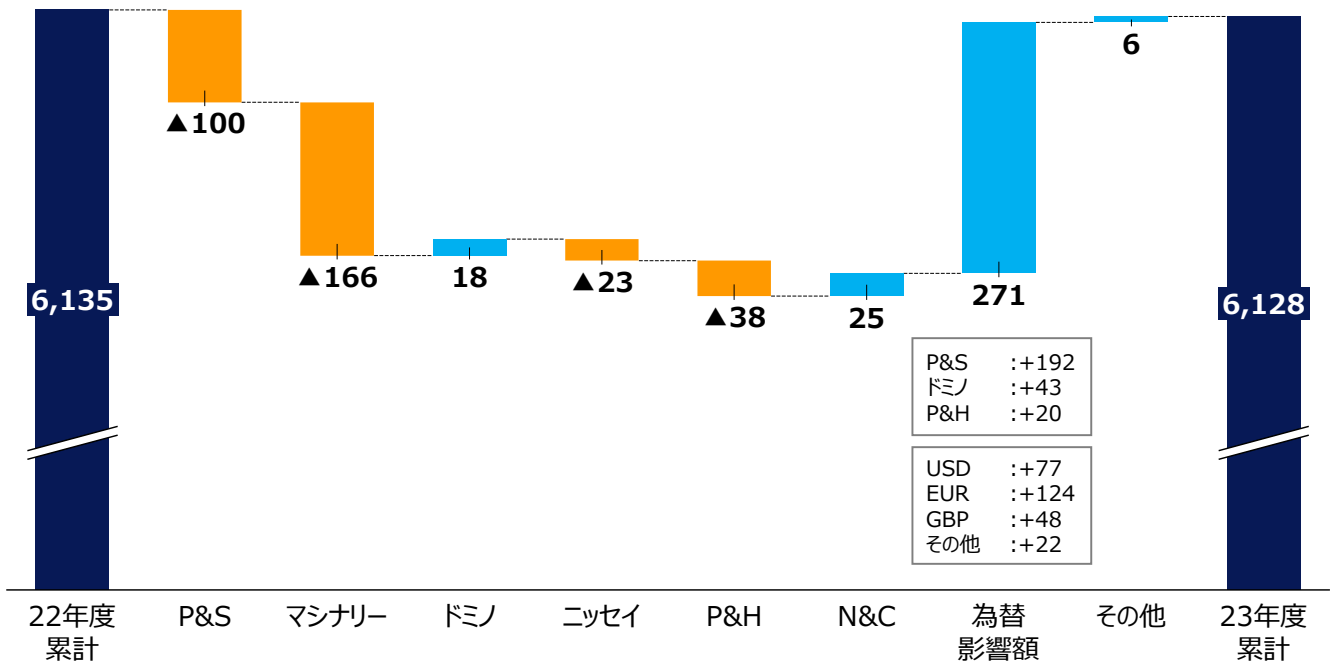
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	22年度 Q3累計	23年度 Q3累計	増減	22年度 Q3累計	23年度 Q3累計	増減	22年度 Q3累計	23年度 Q3累計	増減
P&S	3,742	3,834	92	320	500	179	326	490	164
マシナリー	731	579	▲152	80	25	▲55	85	26	▲58
ドミノ	743	804	61	41	45	4	40	38	▲2
ニッセイ	180	159	▲21	19	9	▲9	19	9	▲10
P&H	395	377	▲18	48	14	▲34	49	13	▲36
N&C	260	285	25	5	16	10	10	17	7
その他	83	89	6	7	7	1	61	17	▲44
合計	6,135	6,128	▲7	520	616	96	590	611	21

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績一覧です。

主に、マシンリー事業の中国・アジアにおける市況低迷や、P&S事業の製品本体の販売減の影響を受けたものの、為替のプラス影響により前年同期並み

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2023年度の第3四半期累計期間の売上収益の増減要因です。

・P&S

通信・プリンティング機器は、消耗品の販売は堅調に推移したものの、市況低迷の影響を受け、製品本体の販売が減少しました。ラベリングは、供給制約があった前年同期と比較して製品本体が堅調に推移しました。P&S事業全体では、通信・プリンティング機器における製品本体の販売減少が影響し、減収となりました。

・マシンリー

産業機器、工業用マシンともに市況低迷の影響を受け、減収となりました。

・ドミノ

景気減速の影響を受け、製品本体の販売は減少したものの、消耗品全般の販売が堅調に推移し、増収となりました。

・ニッセイ

主に中国の市況悪化を受けた設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに減収となりました。

・P&H

各地域における市況の低迷により、減収となりました。

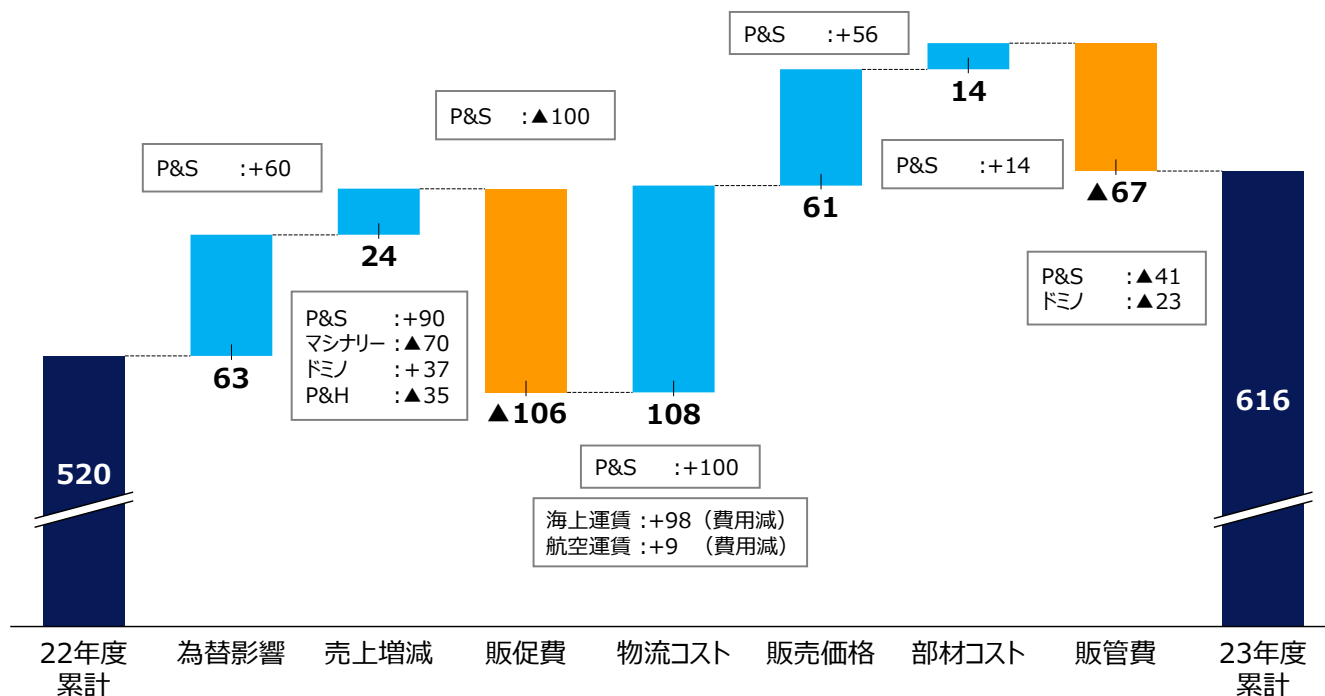
・N&C

新型コロナウイルス感染症の5類移行にともないカラオケ店舗への客足が回復し、増収となりました。

これらに、為替が円安に推移したことによるプラス影響 271 億円が加わったものの、全社では 7 億円減の **6,128 億円**となりました。

販促費・販管費が増加したものの、主にP&S事業における物流コストの減少や価格対応の効果に、為替のプラス影響なども加わり、増益となる

単位：億円



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

事業セグメント利益の増減要因です。主要要素についてコメントします。

・為替影響

主にP&S事業で為替のプラス影響がありました。

・売上増減

マシナリー事業、P&H事業における減収の影響を受けたものの、P&S事業、ドミノ事業における消耗品の売上増などが寄与しました。

・販促費

主にP&S事業において、各社の供給制約の解消にともない競争環境が戻ったことから、増加しました。

・物流コスト

主にP&S事業において、海上運賃の高騰が落ち着いたことなどにより、減少しました。

・販売価格

主にP&S事業において、価格対応の効果がありました。

・販管費

主にP&S事業、ドミノ事業において、営業活動の強化などにより、増加しました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 96 億円増の **616** 億円となりました。

2023年度 通期業績予想

事業ごとには若干変動の可能性のあるものの、
2023年11月7日に公表した内容から変更なし

単位：億円

	22年度 実績	23年度 予想	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	8,153	8,200	47 (▲292)	0.6% (▲3.6%)
事業セグメント利益	604	700	96 (23)	15.9% (3.9%)
事業セグメント利益率	7.4%	8.5%		
その他の収益・費用	▲50	0	50	
営業利益	554	700	146	26.4%
営業利益率	6.8%	8.5%		
税引前利益	570	700	130	22.9%
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	391	500	109	27.9%
USD	134.95	143.03	8.08	
EUR	141.24	154.54	13.30	

• 予想部分の為替レート：1 USD = 145円、1 EUR = 150円

通期の業績予想についてです。

事業ごとには若干変動の可能性のあるものの、
事業ごとの内訳を含め、前回予想（2023年11月7日公表）から変更ありません。

なお、予想部分の為替レートについても、1USD=145円、1EUR=150円と前回から変更ありません。

2023年度通期 事業セグメント別予想（前年比）

単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	22年度 実績	23年度 今回予想	増減	22年度 実績	23年度 今回予想	増減	22年度 実績	23年度 今回予想	増減
P&S	4,967	5,025	57	371	547	176	365	531	166
マシナリー	964	828	▲136	95	35	▲60	98	37	▲61
ドミノ	1,008	1,091	83	56	56	0	▲58	55	113
ニッセイ	235	222	▲13	19	12	▲7	18	13	▲5
P&H	510	540	30	58	30	▲28	59	30	▲29
N&C	353	386	33	5	16	11	8	16	8
その他	116	108	▲7	1	4	3	64	18	▲46
合計	8,153	8,200	47	604	700	96	554	700	146

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

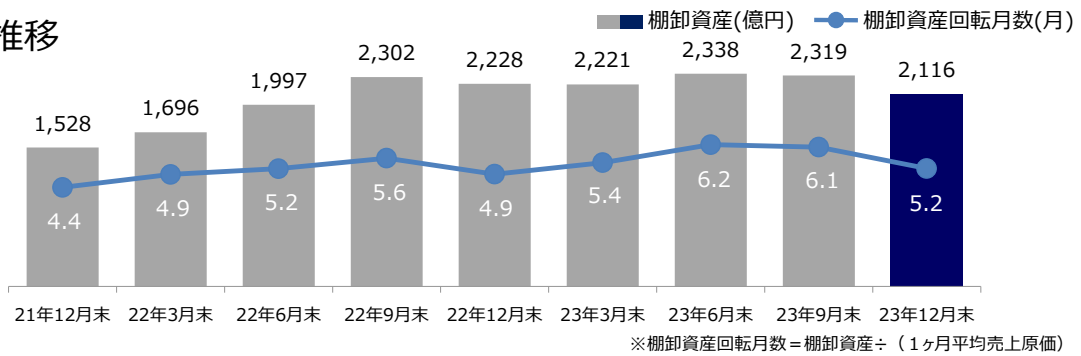
事業セグメントごとの業績予想の一覧です。

単位：億円

	23年3月末	23年12月末	増減
流動資産	5,117	5,038	▲79
現預金	1,190	1,333	143
棚卸資産	2,221	2,116	▲105
非流動資産	3,387	3,629	241
負債合計	2,538	2,126	▲412
有利子負債	374	6	▲368
株主資本	5,966	6,540	574
総資産	8,505	8,667	162

	23年3月末	23年12月末	増減
ネット・キャッシュ	816	1,327	511
株主資本比率	70.2%	75.5%	5.3
ROE	6.8%	-	-

棚卸資産推移



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

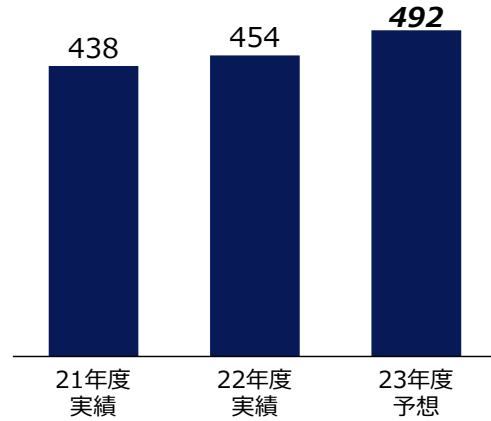
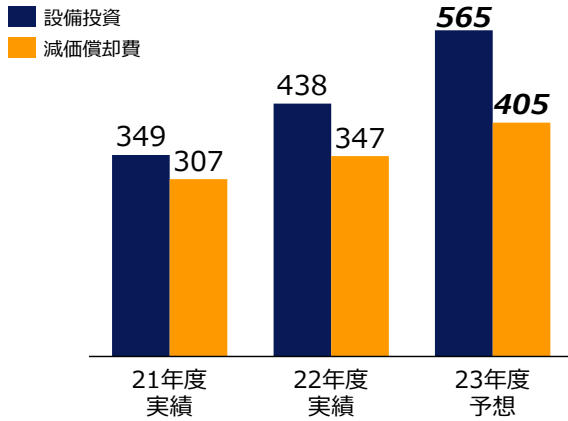
16

為替が円安に推移したことにより、バランスシート全体が膨らんでいます。

棚卸資産・棚卸資産回転月数についても、為替影響を受けていますが、需要に合わせた生産調整により、いずれも減少しました。

設備投資・減価償却費

研究開発費



設備投資内訳

	21年度	22年度	23年度
産業用領域	68	82	122
民生用領域他	281	356	443
計	349	438	565

研究開発費内訳

	21年度	22年度	23年度
産業用領域	103	123	134
民生用領域他	335	331	358
計	438	454	492

*産業用領域は、マシンリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

2023年度の設備投資、減価償却費、研究開発費については、前回公表時からの変更はありません。中期戦略「CS B2024」で掲げた、未来に向けた先行投資を引き続き実施していきます。

セグメント業績概要

プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

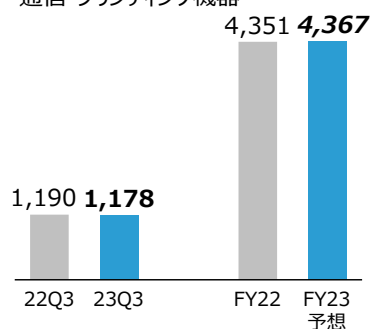
brother
at your side

単位：億円

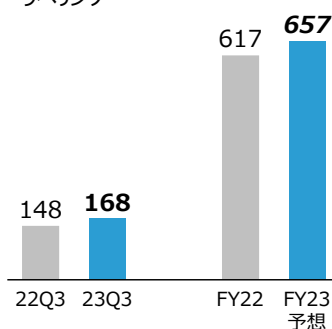
	22Q3	23Q3	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,337	1,346	0.7%	-3.8%	4,967	5,025	1.2%	-3.6%
通信・プリンティング機器	1,190	1,178	-1.0%	-5.4%	4,351	4,367	0.4%	-4.4%
米州	472	426	-9.9%	-11.5%	1,688	1,726	2.3%	-2.2%
欧州	369	396	7.2%	-2.5%	1,351	1,366	1.1%	-6.5%
アジア他	217	222	2.4%	-1.1%	847	848	0.1%	-2.6%
日本（OEMを含む）	131	134	2.5%	1.4%	464	428	-7.9%	-9.3%
ラベリング	148	168	13.9%	9.0%	617	657	6.6%	1.7%
米州	64	73	13.2%	11.3%	286	296	3.7%	-0.8%
欧州	49	55	11.3%	1.3%	186	208	11.5%	3.4%
アジア他	23	29	23.5%	19.5%	98	104	5.8%	3.5%
日本	11	12	8.8%	8.7%	46	49	6.2%	6.2%
事業セグメント利益	91	164	80.6%	-	371	547	47.5%	-
営業利益	102	170	65.6%	-	365	531	45.7%	-

<売上収益>

通信・プリンティング機器

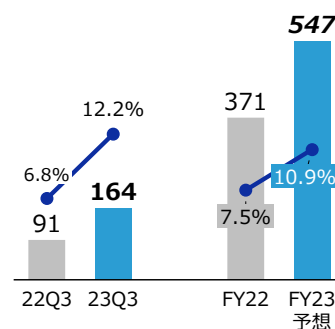


ラベリング



<事業セグメント利益>

● 利益率



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

19

P&S事業の第3四半期の売上収益は **1,346** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス3.8%となりました。

・通信・プリンティング機器

売上収益は **1,178** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス5.4%となりました。
主に米国における市況の低迷により、減収となりました。
詳細は次のページでご説明します。

・ラベリング

売上収益は **168** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、プラス 9.0%となりました。
部材不足による供給制約の影響を受けた前年同期と比較し、製品本体の販売が増加しました。

事業セグメント利益は、**164**億円。

販促費・販管費が増加したものの、
物流コストの減少や消耗品の売上増に、為替のプラス影響も加わり、大幅な増益となりました。

	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	23Q1	23Q2	23Q3	23Q4	21通期	22通期
レーザー (LBP)														
売上伸び率 (円ベース/前年比)														
本体	-10%	-4%	-9%	-8%	41%	45%	42%	36%	4%	-17%	-13%	-	-8%	41%
消耗品	21%	15%	14%	16%	18%	-8%	0%	4%	3%	15%	11%	-	16%	3%
売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)														
本体	-16%	-9%	-15%	-13%	25%	23%	21%	23%	-1%	-21%	-16%	-	-13%	23%
消耗品	12%	9%	6%	9%	7%	-20%	-13%	-6%	-3%	7%	5%	-	9%	-8%
インクジェット (IJP)														
売上伸び率 (円ベース/前年比)														
本体	90%	95%	17%	15%	18%	32%	46%	39%	5%	3%	-5%	-	45%	33%
消耗品	11%	-6%	-3%	2%	19%	-2%	8%	13%	15%	16%	0%	-	0%	9%
売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)														
本体	79%	87%	11%	10%	8%	16%	30%	27%	2%	-2%	-8%	-	38%	20%
消耗品	5%	-10%	-7%	-2%	11%	-12%	-2%	4%	9%	9%	-4%	-	-4%	0%
消耗品比率	56%	57%	58%	59%	53%	47%	49%	53%	54%	53%	54%	-	57%	51%
販売台数伸び率 (前年比)														
レーザー (LBP)	-28%	-16%	-20%	-16%	14%	9%	3%	8%	-1%	-21%	-8%	-	-20%	8%
インクジェット (IJP)	65%	101%	1%	7%	8%	16%	42%	43%	4%	0%	-3%	-	34%	26%

第3四半期における主要製品の売上伸び率についてです。(現地通貨ベース/前年同期比)

レーザー (LBP) の売上伸び率は、本体は マイナス 16%、消耗品はプラス 5%、
インクジェット (IJP) の売上伸び率は、本体は マイナス 8%、消耗品はマイナス 4%となりました。

[製品本体]

レーザー・インクジェットともに、市況低迷の影響を受け、米国を中心にほぼ全ての地域で販売が減少しました。

[消耗品]

レーザーについては、販売が落ち込んだ前年同期と比較して堅調に推移しました。
インクジェットについては、主に先進国で販売が減少しました。

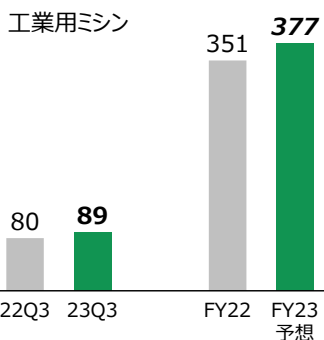
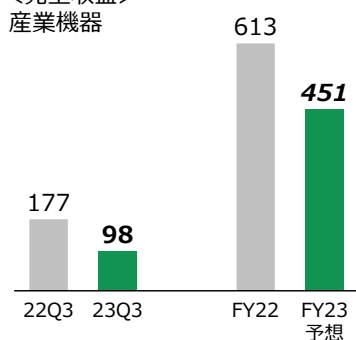
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

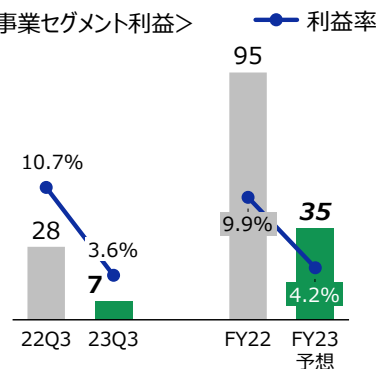
単位：億円

	22Q3	23Q3	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	257	187	-27.2%	-28.8%	964	828	-14.1%	-16.2%
産業機器	177	98	-44.9%	-45.4%	613	451	-26.4%	-26.8%
米州	13	8	-36.2%	-	41	35	-14.2%	-
欧州	12	7	-38.1%	-	38	36	-4.7%	-
アジア他	123	55	-55.1%	-	432	254	-41.2%	-
日本	30	27	-9.2%	-	103	126	23.2%	-
工業用ミシン	80	89	12.4%	8.1%	351	377	7.4%	2.2%
米州	28	33	19.5%	16.9%	105	125	18.8%	13.1%
欧州	17	18	5.9%	-3.5%	74	86	16.4%	7.9%
アジア他	31	33	8.1%	4.5%	155	146	-5.6%	-9.3%
日本	4	5	22.7%	22.7%	17	20	15.7%	15.7%
事業セグメント利益	28	7	-75.7%	-	95	35	-63.3%	-
営業利益	26	6	-77.4%	-	98	37	-62.4%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

21

マシナリー事業の第3四半期の売上収益は **187** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス28.8%となりました。

・産業機器

売上収益は、**98** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス 45.4%となりました。
中国・アジアにおいて自動車・一般機械市場向けの設備投資需要が低迷し、大幅な減収となりました。

・工業用ミシン

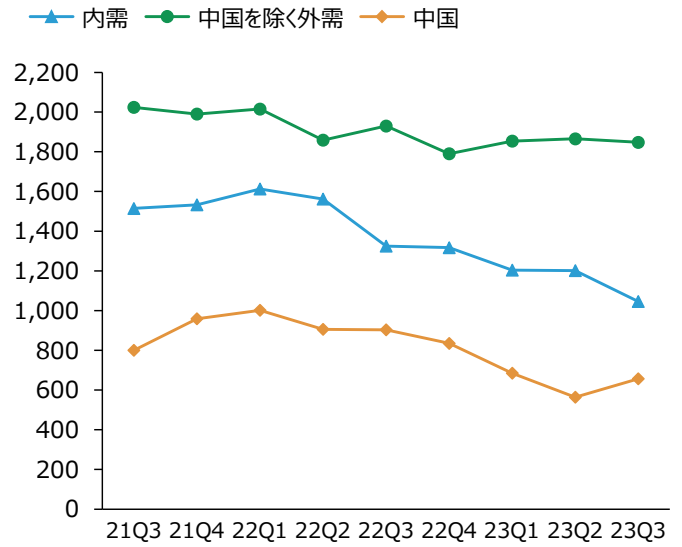
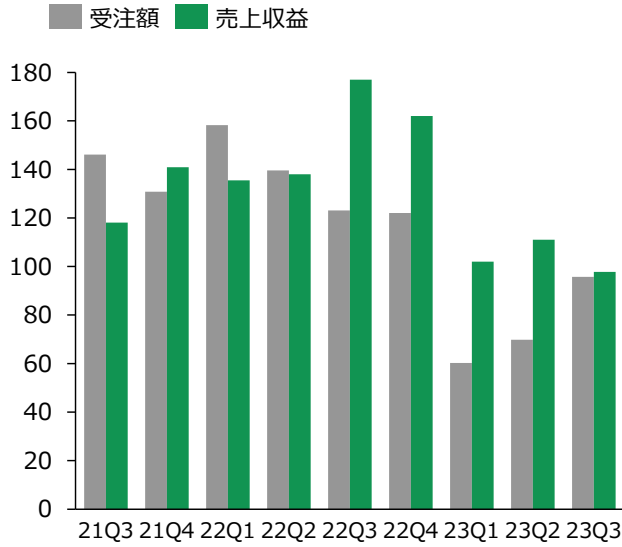
売上収益は、**89** 億円、現地通貨ベースでの伸び率は、プラス 8.1%となりました。
工業用ミシンについては、アジアのアパレル向け設備投資需要が引き続き低調に推移したものの、
ガーメントプリンターについては、主に米国での販売が増加しました。
工業用ミシン全体では、為替のプラス影響も加わり、増収となりました。

事業セグメント利益は、**7** 億円。
減収により、大幅な減益となりました。

単位：億円

受注額・売上収益の推移

（参考）日工会受注統計



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

四半期ごとの売上収益と受注額です。
受注額は、国内受注と海外受注を合わせた製品本体受注の合計額です。

受注水準は 2023年度第1四半期で底を打ったものの、
回復スピードは緩やかであり、中国の市況低迷の影響が継続しています。

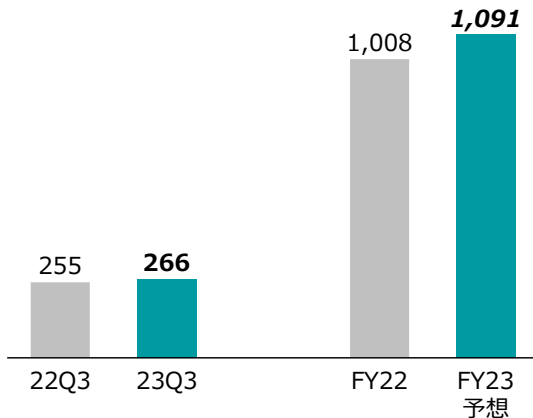
ドミノ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

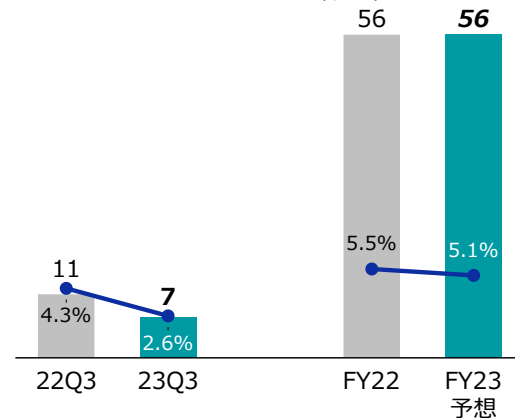
単位：億円

	22Q3	23Q3	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	255	266	4.4%	-1.6%	1,008	1,091	8.2%	3.1%
米州	63	72	14.0%	-2.1%	243	275	13.3%	0.3%
欧州	108	111	2.1%	-1.2%	437	471	7.9%	3.4%
アジア他	73	74	1.6%	-0.5%	288	306	6.5%	6.6%
日本	10	9	-10.2%	-10.2%	41	39	-6.4%	-6.4%
事業セグメント利益	11	7	-38.7%	-	56	56	0.5%	-
営業利益	3	2	-21.9%	-	-58	55	-	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

23

ドミノ事業の第3四半期の売上収益は **266** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス 1.6%となりました。

製品本体は、景気減速の影響により、主に欧州において設備投資需要が軟調に推移し、C&M・DPともに販売が減少しました。
消耗品全般は、引き続き堅調に推移しています。
全体では、為替のプラス影響により、増収となりました。

事業セグメント利益は、**7**億円。
営業活動の強化や基幹業務システムの刷新にともなう販管費の増加に
為替のマイナス影響が加わり、減益となりました。

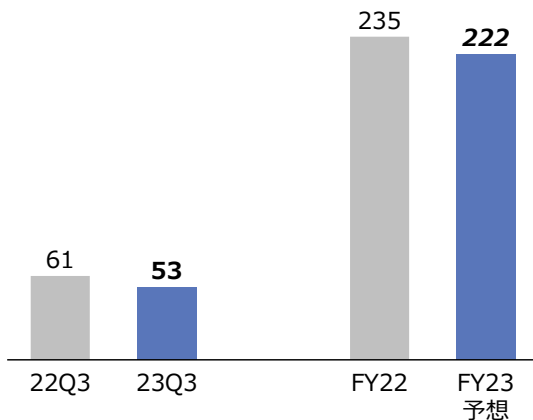
営業利益は、為替差損により **2**億円となりました。

ニッセイ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

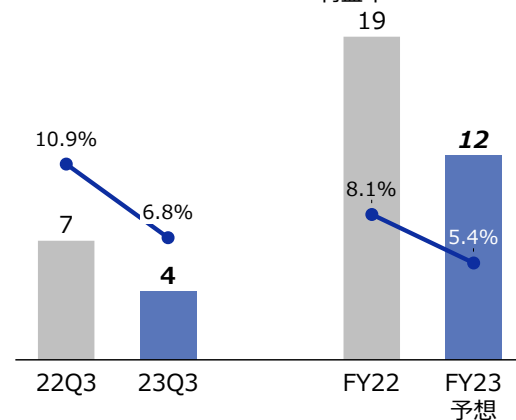
単位：億円

	22Q3	23Q3	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	61	53	-11.9%	-13.0%	235	222	-5.5%	-6.8%
米州	11	8	-31.1%	-33.3%	38	37	-3.4%	-9.1%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	10	9	-9.1%	-13.6%	37	36	-2.4%	-5.0%
日本	40	37	-7.3%	-7.3%	160	149	-6.7%	-6.7%
事業セグメント利益	7	4	-45.1%	-	19	12	-36.9%	-
営業利益	7	4	-44.2%	-	18	13	-28.5%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



ニッセイ事業の第3四半期の売上収益は **53** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス13.0%となりました。

主に中国の市況悪化を受けた設備投資需要の低迷により、
減速機・歯車ともに販売が低調に推移し、減収となりました。

事業セグメント利益は、**4**億円。
減収により、減益となりました。

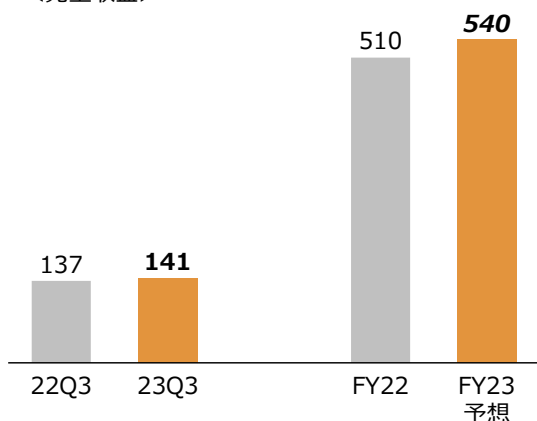
パーソナル&ホーム事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

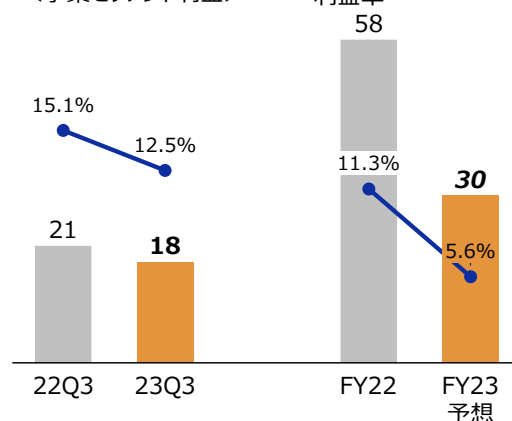
単位：億円

	22Q3	23Q3	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	137	141	2.7%	-2.3%	510	540	5.9%	0.7%
米州	84	79	-6.1%	-9.4%	316	335	6.0%	0.8%
欧州	33	41	24.9%	13.6%	112	122	8.9%	1.1%
アジア他	14	14	1.4%	-1.4%	52	54	2.6%	0.5%
日本	6	7	7.5%	7.5%	29	29	-1.2%	-1.2%
事業セグメント利益	21	18	-14.8%	-	58	30	-48.1%	-
営業利益	21	17	-17.9%	-	59	30	-48.7%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

25

P&H事業の第3四半期の売上収益は **141** 億円、
現地通貨ベースの伸び率は、マイナス 2.3%となりました。

米国において市況低迷の影響を受け、中高級機を中心に販売が減少したものの、
為替のプラス影響により、増収となりました。

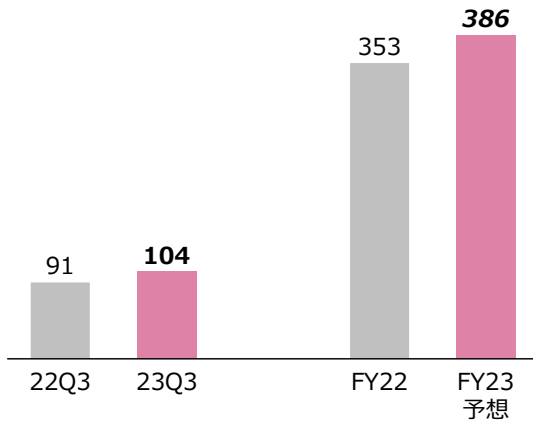
事業セグメント利益は、**18** 億円。
中高級機の販売減少による製品ミックスの悪化や、
販促費・販管費の増加により、減益となりました。

ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

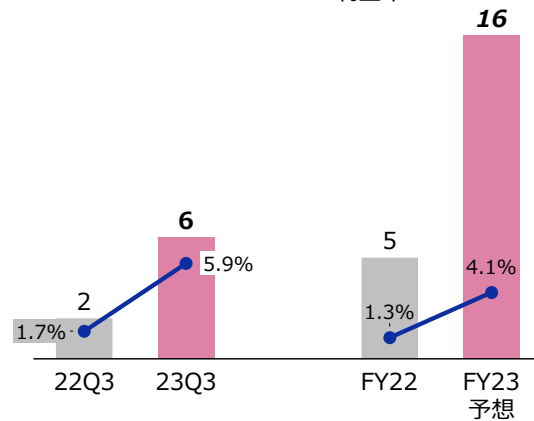
単位：億円

	22Q3	23Q3	増減率	FY22	FY23予想	対前年増減率
売上収益	91	104	14.7%	353	386	9.5%
事業セグメント利益	2	6	約4.1倍	5	16	約3.5倍
営業利益	1	6	約6.1倍	8	16	約2.0倍

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



N&C事業の第3四半期の売上収益は **104** 億円。前年同期比 プラス 14.7%となりました。

新製品投入にともないカラオケ機器の販売が増加したことに加え、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなう客足の回復により、カラオケ店舗の売上が増加し、増収となりました。

事業セグメント利益は、**6**億円。

新製品投入にともない販管費が増加したものの、増収効果により、増益となりました。

トピックス

P&S製品を生産するブラザーインダストリーズ（フィリピン）が、RBAプラチナ認証を取得。
RBA認証取得は3拠点目、うちプラチナ認証取得は2拠点目

■ **ブラザーインダストリーズ（フィリピン）において、RBAのプラチナ認証を取得**

- RBA（Responsible Business Alliance）は、加盟企業が持続可能なサプライチェーンの構築を通じ社会的責任を果たすことを目的とする世界的な団体
- 監査項目である労働、安全、環境、倫理、サプライチェーン管理とそれらのマネジメントシステムにおける適正な管理が認められ、**最高得点である200点満点を獲得し、プラチナ認証を取得**



ブラザーインダストリーズ（フィリピン）



RBA プラチナ認定証

■ **マテリアリティ「責任あるバリューチェーンの追求」に向けた、サステナビリティ目標の進捗**

2024年度 目標 **グループ製造拠点3拠点において、RBA ゴールド認証を取得**

これまでの 認証取得	時期	拠点	取得した認証
	2022年9月	ブラザーインダストリーズ（ベトナム）	ゴールド
2023年10月	ブラザーテクノロジー（深圳）	プラチナ	
2023年11月（今回）	ブラザーインダストリーズ（フィリピン）	プラチナ	

ブラザーグループでは、5つのマテリアリティのひとつに「責任あるバリューチェーンの追求」を掲げ、2024年度目標を「RBAゴールド認証を取得したグループ製造拠点数を3拠点」としています。

このたび、P&S製品を生産するブラザーインダストリーズ（フィリピン）が、RBAプラチナ認証を取得しました。

RBA認証の取得は、ブラザーインダストリーズ（ベトナム）でのゴールド認証、ブラザーテクノロジー（深圳）でのプラチナ認証に続く、ブラザーグループで3拠点目で、プラチナ認証としては2拠点目です。

今回、監査項目である労働、安全、環境、倫理、サプライチェーン管理とそれらのマネジメントシステムにおける適正な管理が認められ、最高得点である200点満点を獲得しました。

今後も、サプライチェーン全体での持続可能な社会の実現に貢献していきます。

ブラザーインダストリーズ（フィリピン）の新工場棟が完成。 複合機能拠点として、事業環境の変化への柔軟な対応を目指す

- 2024年1月に、P&S製品を生産するブラザーインダストリーズ（フィリピン）の新工場棟（第3工場）が完成
- 投資額：約90億円



ブラザーインダストリーズ（フィリピン）第3工場

複合機能拠点として事業環境の変化に柔軟に対応

生産能力の増強

さまざまなP&S製品の
柔軟な生産

部品・製品の倉庫機能
によるBCP対応

太陽光パネルによる
再生エネルギー活用

2024年1月に、P&S製品を生産するブラザーインダストリーズ（フィリピン）の新工場棟（第3工場）が完成しました。

新工場棟では、さまざまな種類の製品の生産が可能であることに加え、BCP対応として、部品や製品を保管できる倉庫機能を兼ね備えています。また、屋上一面に太陽光パネルを設置し、年間最大発電量は3,736MWh/年とブラザーグループ拠点における総発電量の約4割を占めることになります。生産増への対応のみならず、複合機能拠点として、今後の事業環境の変化に柔軟に対応していきます。

brother
at your side

ビジネス領域		事業		分野（主な製品・サービス群）					
産業用領域	マシンリー・FA領域	ニッセイ		 減速機 歯車	 工作機械	 工業用マシン			
		マシンリー	産業機器						
	産業用印刷領域		工業用マシン	工業用マシン	 ガーメントプリンター	 コーディング・マーキング機器	 デジタル印刷機		
		ドミノ							
民生用領域	プリンティング領域	P&S (プリンティング&ソリューションズ)	ラベリング	業務用ラベリング	 業務用ラベルプリンター	 モバイルプリンター	 ラベルライター	 プリンター	 複合機
			汎用ラベリング	汎用ラベリング					
	ホーム・カルチャー領域	通信・プリンティング		P&H (パーソナル&ホーム)		 家庭用マシン	 カッティングマシン	 通信カラオケ機器	
N&C (ネットワーク&コンテンツ)									